

多血小板血漿（PRP）を用いた美容療法

※厚生労働省、再生医療等提供計画番号 PC4150070

※認定再生医療等委員会（日本アンチエイジング医療協会）認定

医療法人社団静美心会 ラ・クリニカ・シズオカ 院長 武中 暁

皮膚老化の再生を図るために、自己多血小板血漿（PRP）の皮膚への注入を行うことを勧めます。PRP はご自身の血小板を濃縮した成分で、この中には皮膚の再生を促進する様々な成長因子が含まれています。これらは、清潔操作で行われ、かつ自己血液であるために、他人からの病気がうつる、あるいは感染症を起こす心配は基本的にありません。

説明

- 施術前に表面麻酔を行います。
 - 静脈血採血による合併症は極めて稀ですが、失神・吐き気・静脈炎・内出血斑・神経損傷を起こす可能性があります。
 - PRP 注入液を作製するためには、通常 10 cc の静脈血を片側の肘の静脈から採血します。
 - 血小板活性を保つためにアドレナリン含有リドカインを少量加えます。
 - この血液を遠心分離機にかけて、分離された PRP を抽出します。
 - この PRP をすぐに皮下に注射します。
 - PRP は保管せず、余剰が出た場合には速やかに医療廃棄物として破棄します。
 - 注入後、腫れや内出血が起こることがあります。
 - 施術後にホットタオルで加温します。
 - 他の療法との比較：ヒアルロン酸注射や光線療法とは機序が異なり、類似する方法はありません。
 - 治療費：顔面全体 5 万円（別途消費税）、部分的治療 3 万円（別途消費税）
- ※発赤、内出血が起きることがございますが、何か問題がございましたら、
ラ・クリニカ・シズオカ 電話 0120-108-300 までご連絡下さい。

PRP の治療効果

- PRP 注入は、完全にシワ・タルミを改善するものではなく、個人の自然治癒力を利用しているため、徐々に改善するが、その治療効果に個人差があること及び治療効果を保証するものではありません。また、シワ・タルミの程度によっては複数回の治療が必要となる場合があります。
 - 現在まで、メリット・デメリットにおいて、この PRP に替わる治療はございません。
- 前述の処置の本態と目的及びその実施に関わる危険性を十分説明しました。私は全ての質問に私の能力最善を尽くして答えました。また、これからも答えるつもりです。

